



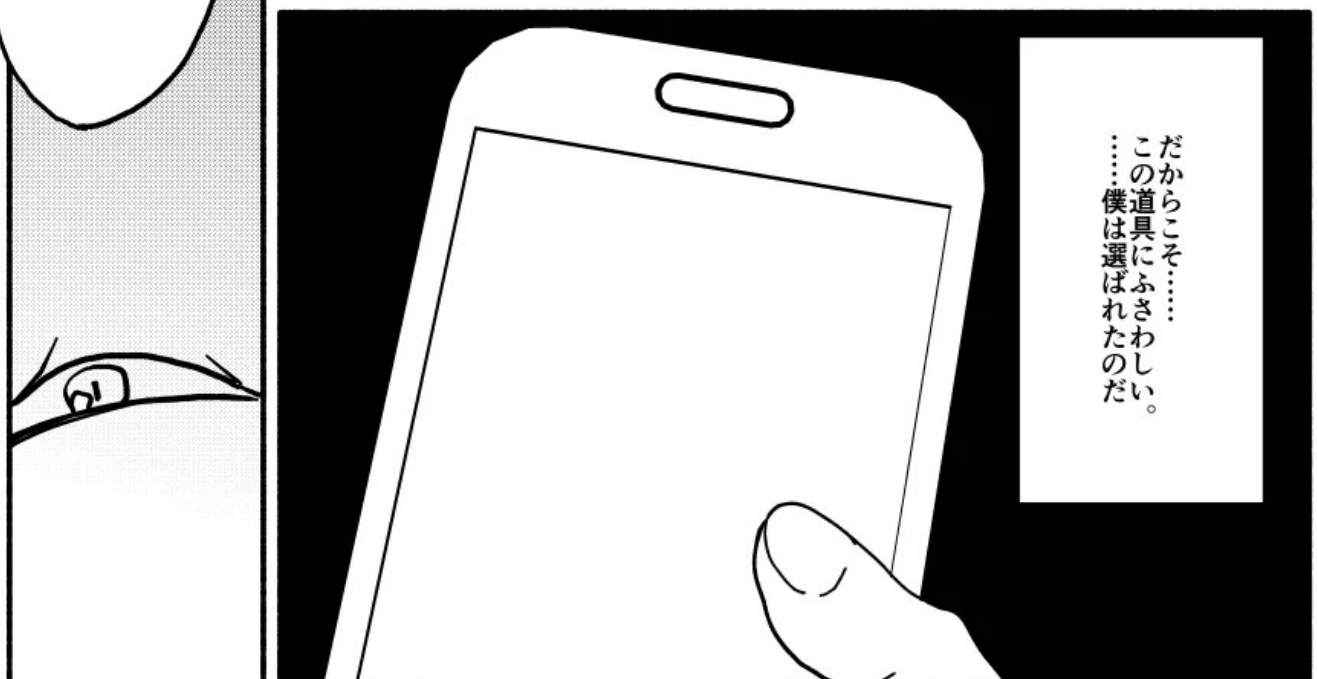
太ったおばさん



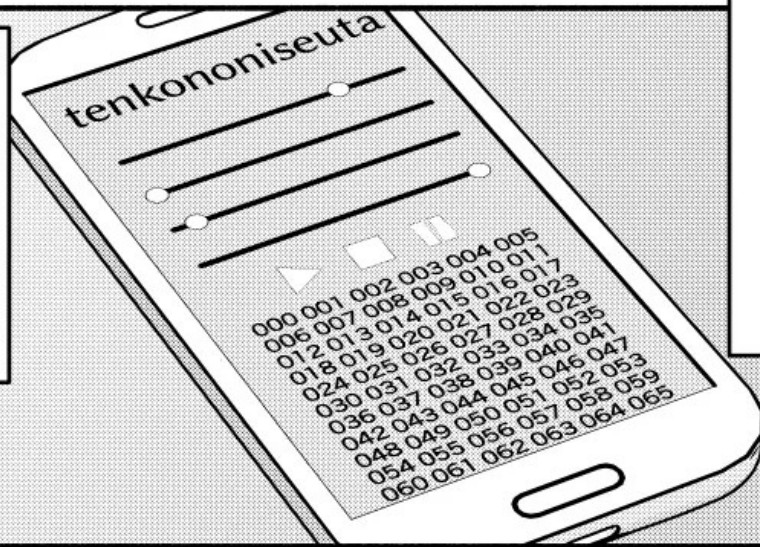
一ヶ月前に転校してきて
既にクラスを中心に
なりつつある才色兼備の美少女。

親の都合で海外にいたのだが、
もっとも8歳くらいまでは
この町で育っていて
今回また親の仕事の都合で
帰ってきた

……という経緯で、
幼い頃の知り合いもいるため
生来の明るい性格もあるが
クラスで打ち解けるのに
全く難は無かったようだ。



アプリストアに平然と並ぶこの無料アプリ：サンプルングした音を組み合わせる趣旨の簡単な音楽編集アプリだ



ただ機能も少ないしUIもD/L数も評価もクソでデータ量も無駄に大きい

使ってる奴なんていないだろう

正しく使うには手順を要する。ここに大量に入ってる豊富なサンプル音の

024番と
197番と
070番と

まずこれを、個別に三つ、よく聴く

この時点でちよつと頭がくらくとくる

次に024、077を同時に再生。

初めて聴くときは明確に目眩がする

次に頭の中でそれを再生。二つの音を個別に意識して、一体の響きとして認識しないよう注意する

二つの音を全く独立して頭の中で同時に再生出来るようになったら

その後に、同じことを残りの組み合わせでも行う。

サンプル音024、190を同時に、

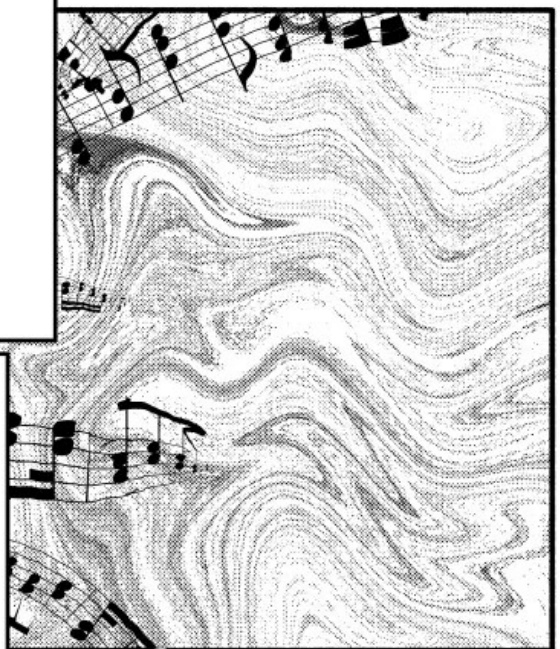
サンプル音077、190を同時に

その三つの音をプレイヤーにセット、実際に再生

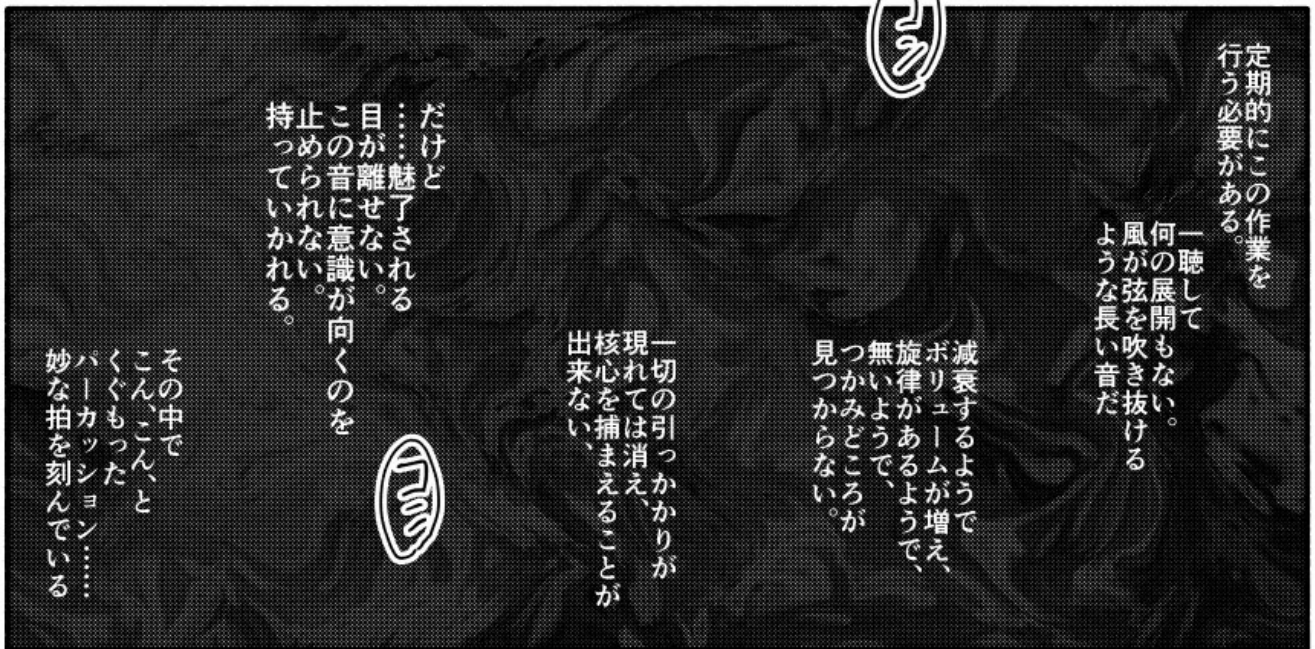




少し意識が遠くなる。
しかし耐えられる。
分解しながらこの音を
聴くことが出来るからだ。
因数は知っている。



先ほどまでの工程で
免疫を獲得したという
わけだ。



定期的にこの作業を
行う必要がある。

一聴して
何の展開もない。
風が弦を吹き抜ける
ような長い音だ。

減衰するようで
ポリウムが増え、
旋律があるようで、
無いようで、
つかみどころが
見つからない。

一切の引っかけが
現れては消え、
核心を捕まえることが
出来ない。

……魅了される
目が離せない。
この音に意識が向くのを
止めていかれる。

その中で
こんこんと
くぐもった
パーカッション……
妙な拍を刻んでいる



あとはそこに
好きに言葉を投げてやる。
それだけでいい。

てん・この・に・せ……



この段階で
意識は極めて特殊な
状態に陥る……らしい
“夢”をも掴む”としても
言おうか……完全に
受動的に振舞い始める

指の隙間をすり抜ける
羊雲のような音に溺れながら
あわや手がかりと
この“拍”のようなものに
掴もうと手を伸ばせば、
もう膝まで沈んでいる。
これが数秒の出来事だ。



うっ！！！！

何聴いてるの

あっっ！！
だめだめ！！

見てたから

こっぴどく

くすっ

それは…

っていうか
奥宮さんて何に
香織でいいのに

いや、
皆見てるし…

恥ずかしいの？

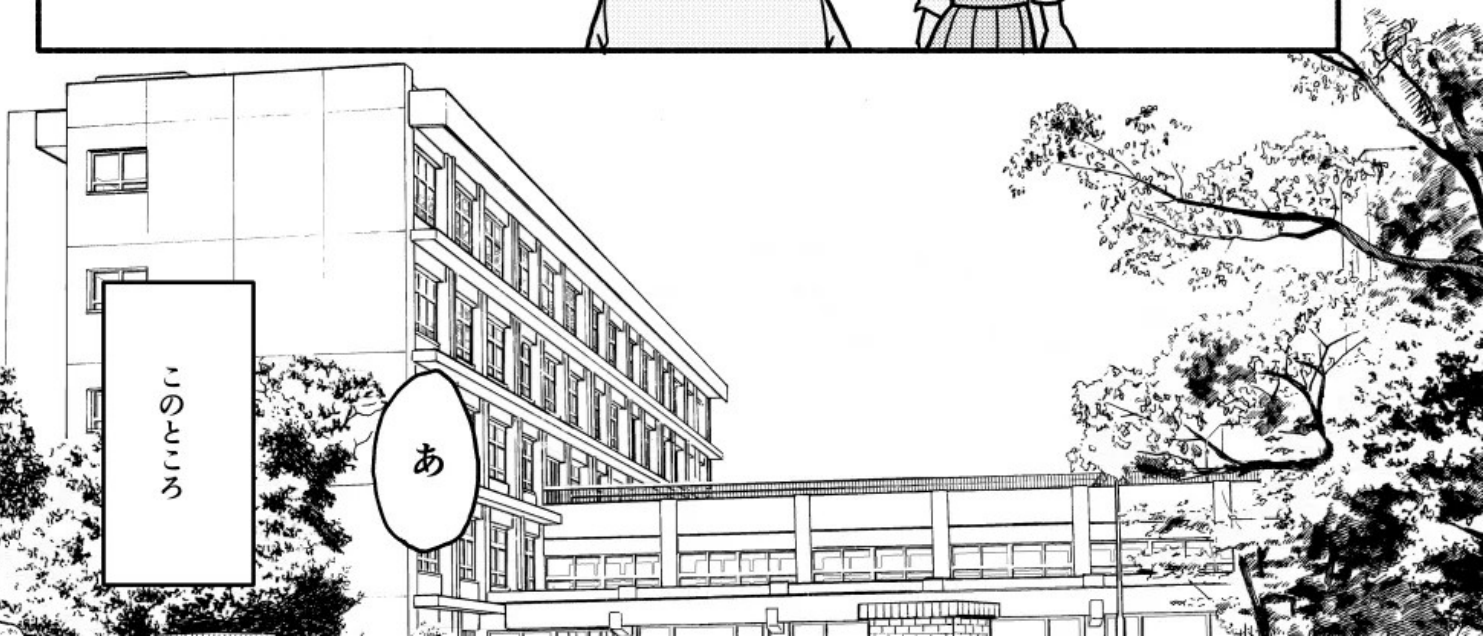
お……奥宮……
さん

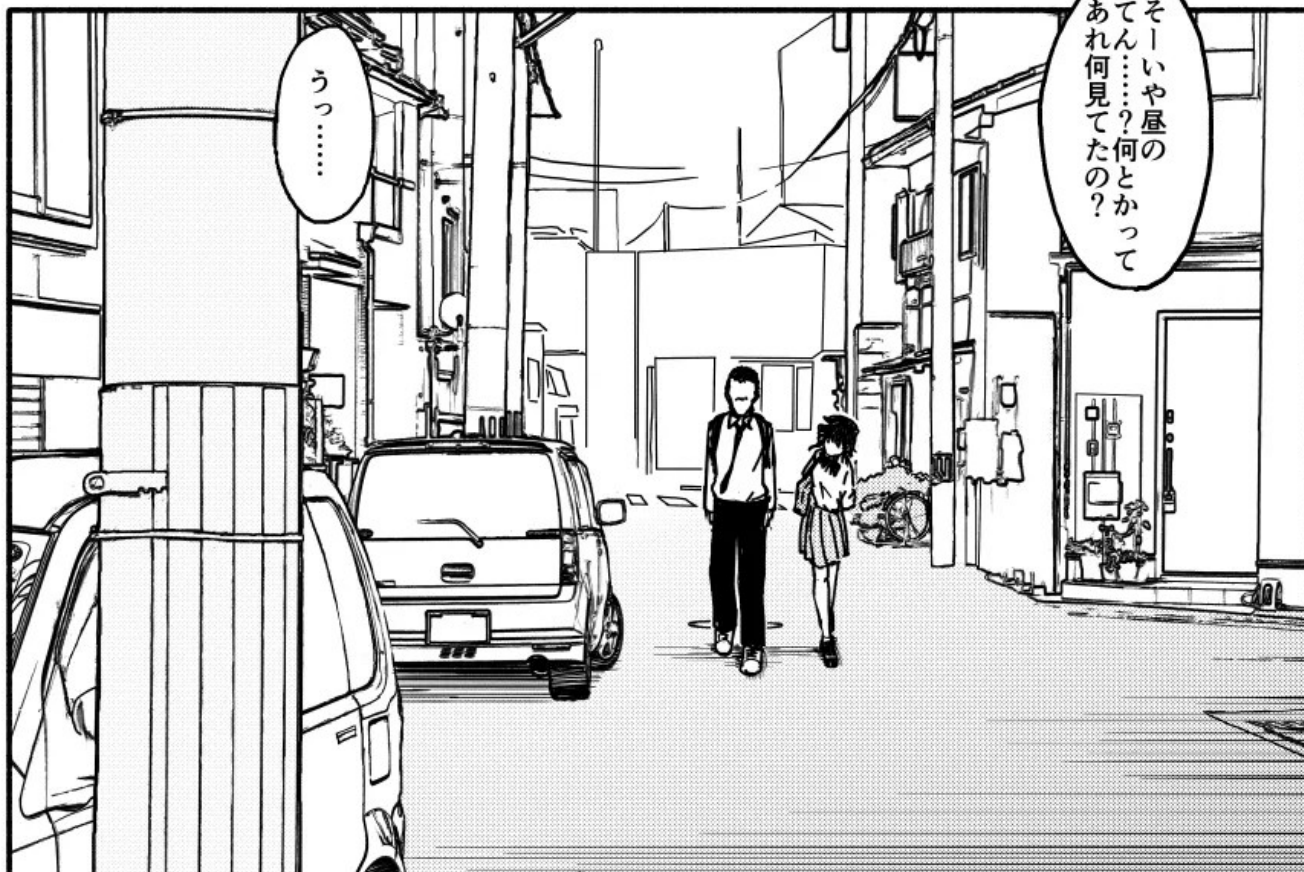
びっくり
しすぎ

なっ……なんか用？

とす







でも
この辺歩くと
思い出すね

二人で毎日
走り回ってさ……
あそこ道路じゃなくて
竹藪だったよね

10年も
経ってないのに
変わるもんだねえ

都市開発
進んでるみたいだね…

あっあの辺りだよな
おっきい野良犬に
追いかけて

逃げろって
私に言ってたの
向かっていったの
かっこよかったな

あの時
私の方が大きかった
のにさ

そ……
そうだった？

ほら結局
向かっていったら
逃げたってさ犬た
大笑いしちゃった
じゃない私

ああ……

奥宮香織の親は
非常に多忙にして奔放で、
日本に帰ってきたものの

ひとところに留まる
仕事をしてるわけではなく
日本中を飛び回っている

実はさ
やっぱこの部屋
一人じゃ寂しくって

まずは常識改変

家に帰ったら
まずは手洗いうがい、

はい…

はい…

そしてブラと
パンツは外す。

脱いだら
洗濯機に入れる前に
おいをチェック
してもらうのを
忘れずにね。

大切な
エチケットだから。

はい…

では覚醒〜

ポチ

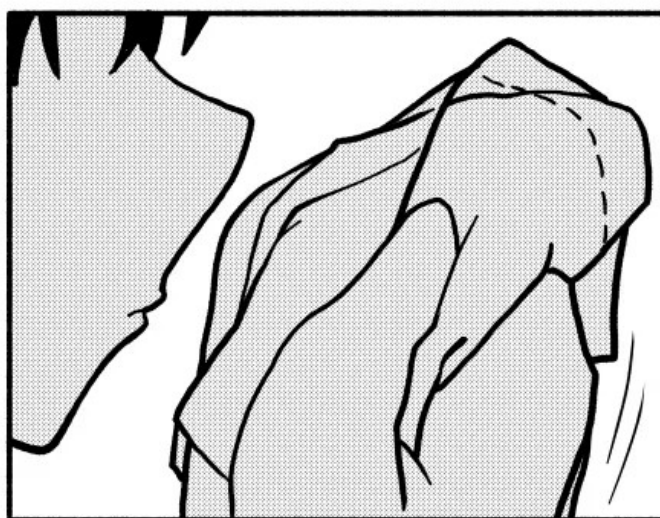
はあ
ちっ

手洗い
忘れずにね

ミヤ

はいはい





なるほど
場合によっては
催眠後の言葉でも
事後的に解釈を決定
することができる……



香織はいま完全に
誰のだろうと
パンツのにおいを
チェックする
エチケットがあるという
暗示にかかっている。



くらくらする……

そんなにくさい？

あつ
そうじゃなくて……
す、好きなにおい……
だけどね？ 私は



まあ脱いで洗濯前に
嗅いでもらう……んだから

当然
帰宅した家主の
下着だけの
マナーだよな

え

変なこと言うから
冗談で渡したのに
僕のパンツ
嗅ぎ始めたから
びっくりしたよ？



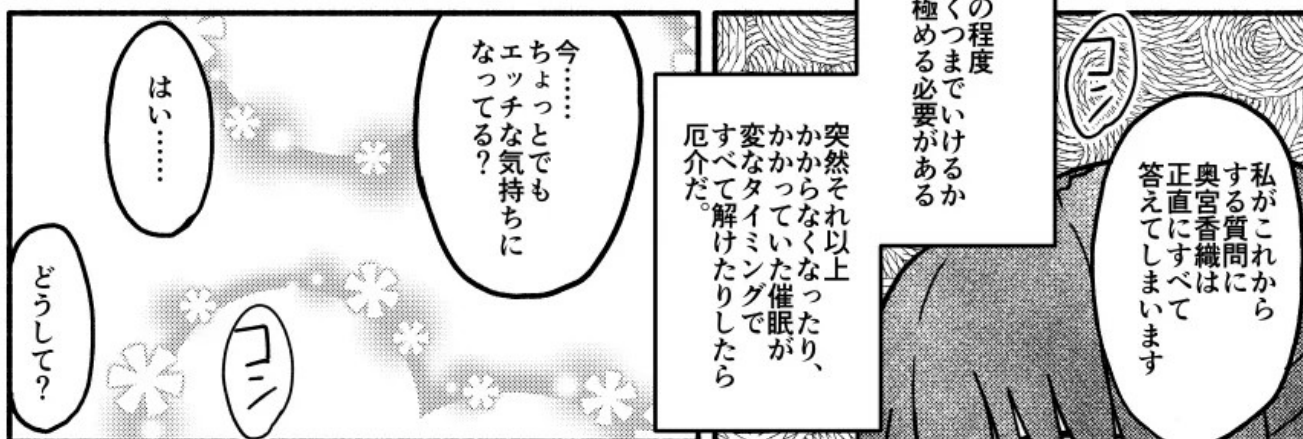
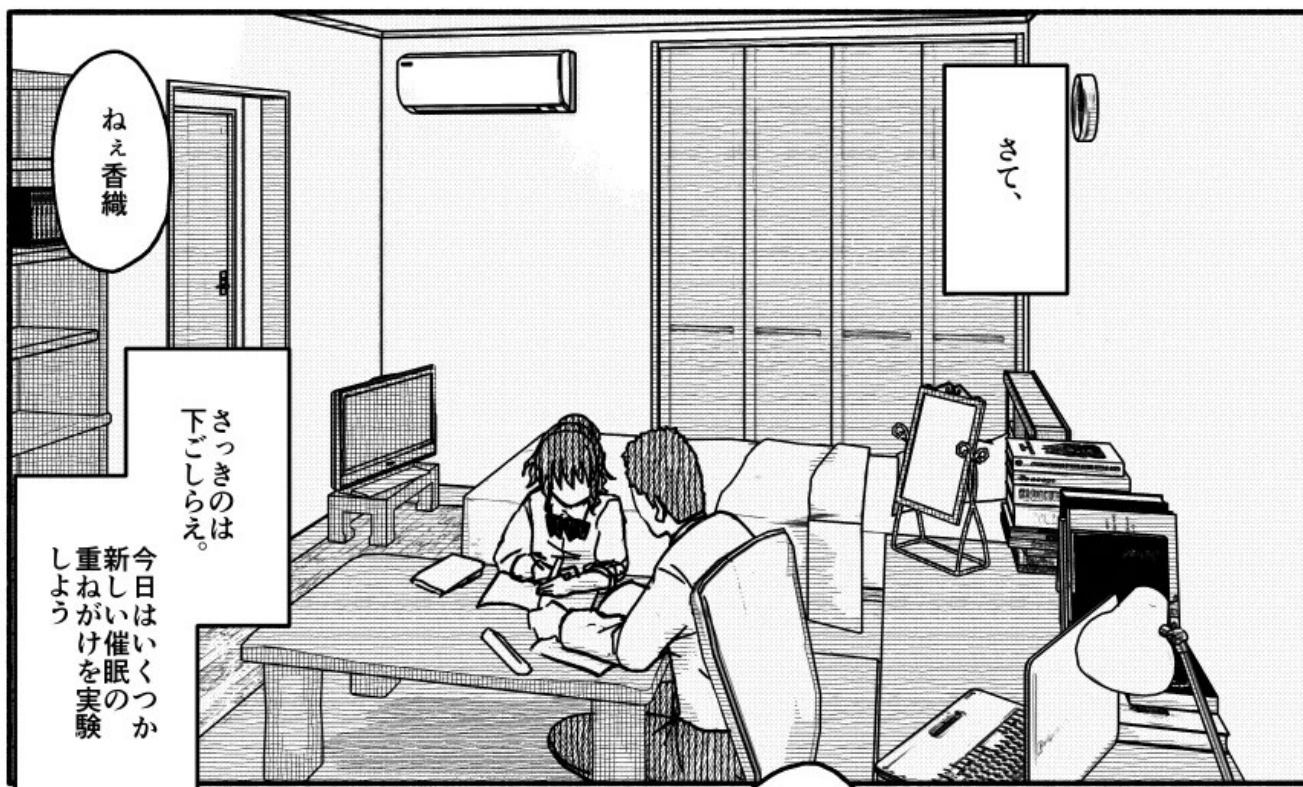
ま……
宿題しよっか

え

え

だって

こんな風にしてもう三週間、
僕はこのアプリの『仕様』を
徹底的に調べている



ここまでは
無意識の応答、
反応を促す暗示

じゃあ隙を見て発散
しておいたほうが
いいね

僕がトイレに立ったら
その間に
オナニーをしておくこと

はい……

それと……
そうだな

そして追加
これは
自発的な行動を
促す暗示だ。
まだいけそうだな

……今から奥宮香織の、
この親指の爪の上は
剥けたクリトリスと
同じ敏感さ、
同じ性的刺激を感じる
ようになってしまします

さて……次は
初めて試すのを
追加

身体感覚の変更
意識に訴えかけて
どこまでやれるのか
丁寧にやろう

今……一回
クリトリス自分の指で
触ってごらん？

できるだけ暗示も
わかりやすく
感覚を導いてやるのが
重要だ

はい……

そうそう
優しく
撫でるんだよ

親指の先が
そこと同じ性感帯に
なるからね

んっ……

……で

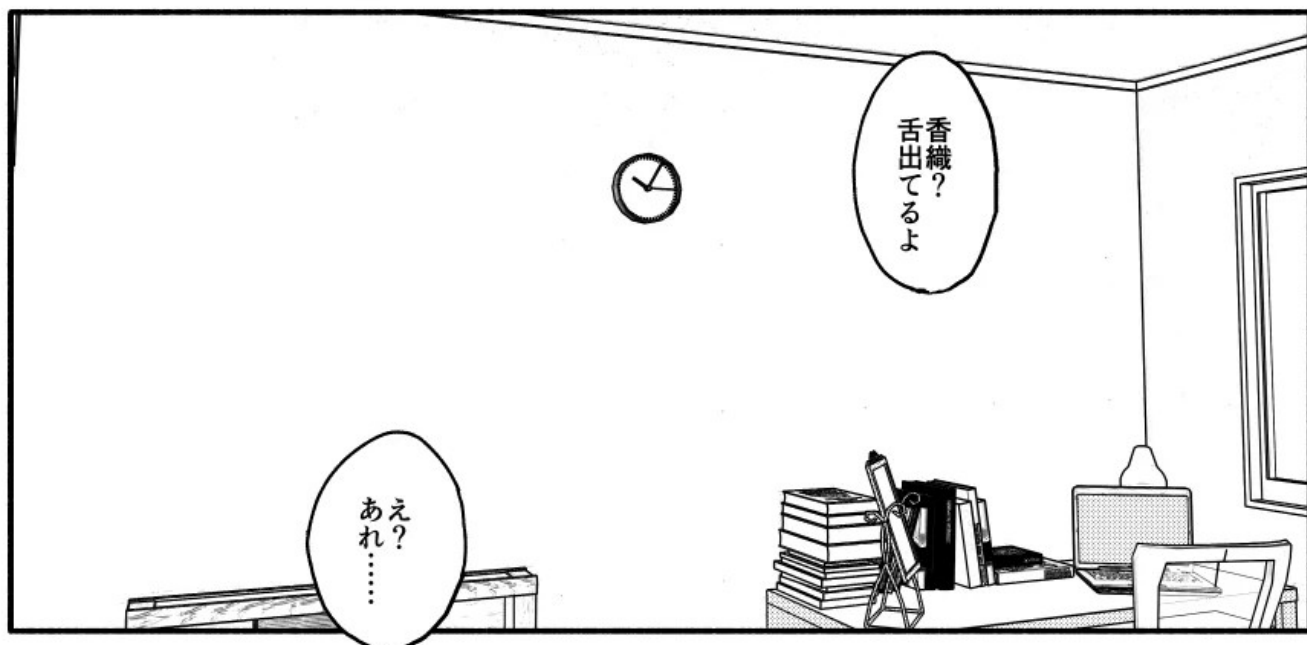
奥宮香織は今から
僕に指相撲で勝たないと
トイレにいけないという
ルールを守らないとい
けません

更に追加。
当然こういうのを
組み合わせる

これくらいで……



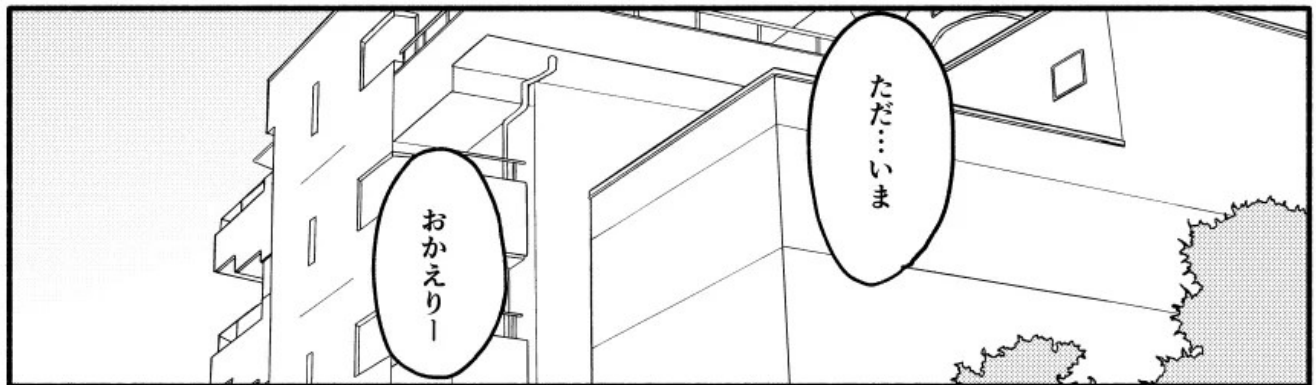
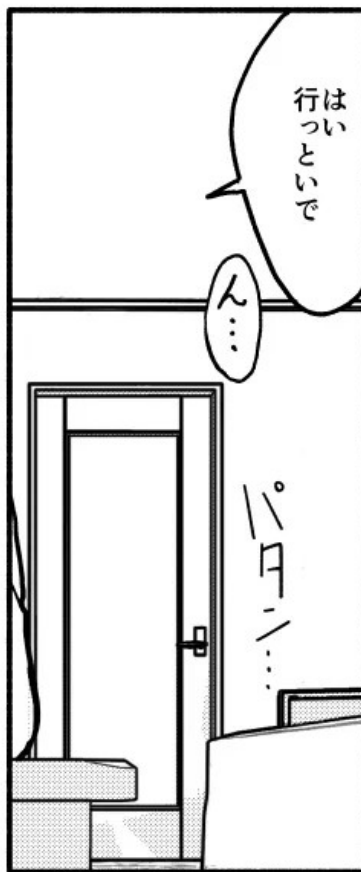












…ふあー？

は、

は、

は、

今日は
そろそろ……か

……おちて



今からする
二人の行為には
もう必要のないものを
取り除いておく

ちんちんに
キスしながら
聞いててね

親指の感覚も
普通に戻ります
トイレもいつも
行っているよ

それに関する
暗示をすべて解除
それに起因して
行った行動も忘れる

帰宅したら
ブラやパンツを
嗅がせるとい
うエチケットは
存在しません

オナニーも……
したいときに
しているからね

……っと
こんなもんな

ん……もう
付けちゃうの？
てかゴムすぐ出たね

したくてしたくて
仕方なかったんだ？

いい……
言わないでっ



大丈夫?



……ベッド
来な?



じっと
見つめ合いながら
少しずつ互いを
脱がしていく

はやる気持ちを抑えて
ゆっくりとゆっくりと

一日かけて仕上がった
香織のトロトロに
蕩けた身体が露わに
なるにつれ

互いに期待で
溢れそうになりつつ
それでも目と目を
合わせ続け

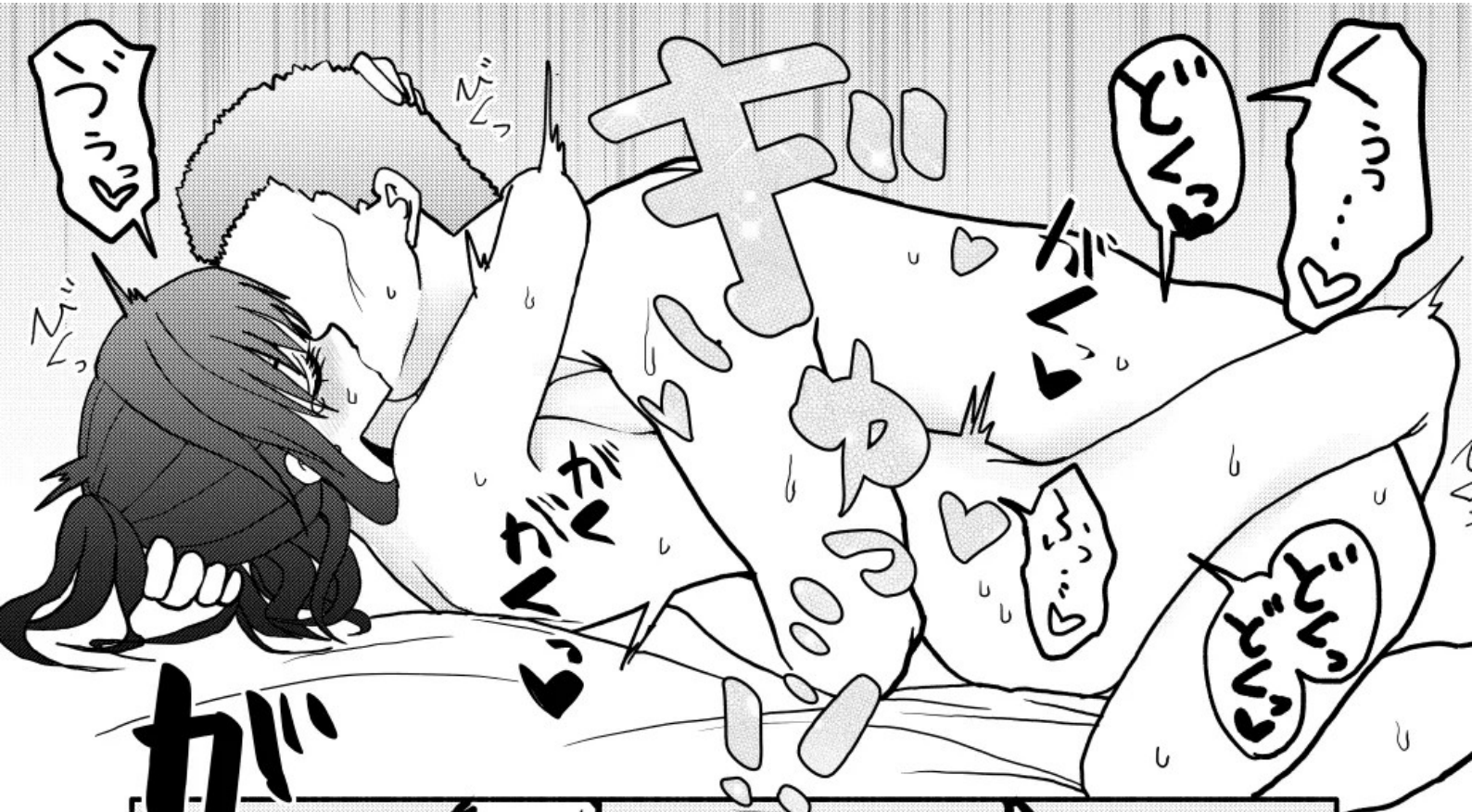
愛撫しながら
この愛おしい時間を
贅沢に味わいながら
一緒に少しずつ
裸になっていく

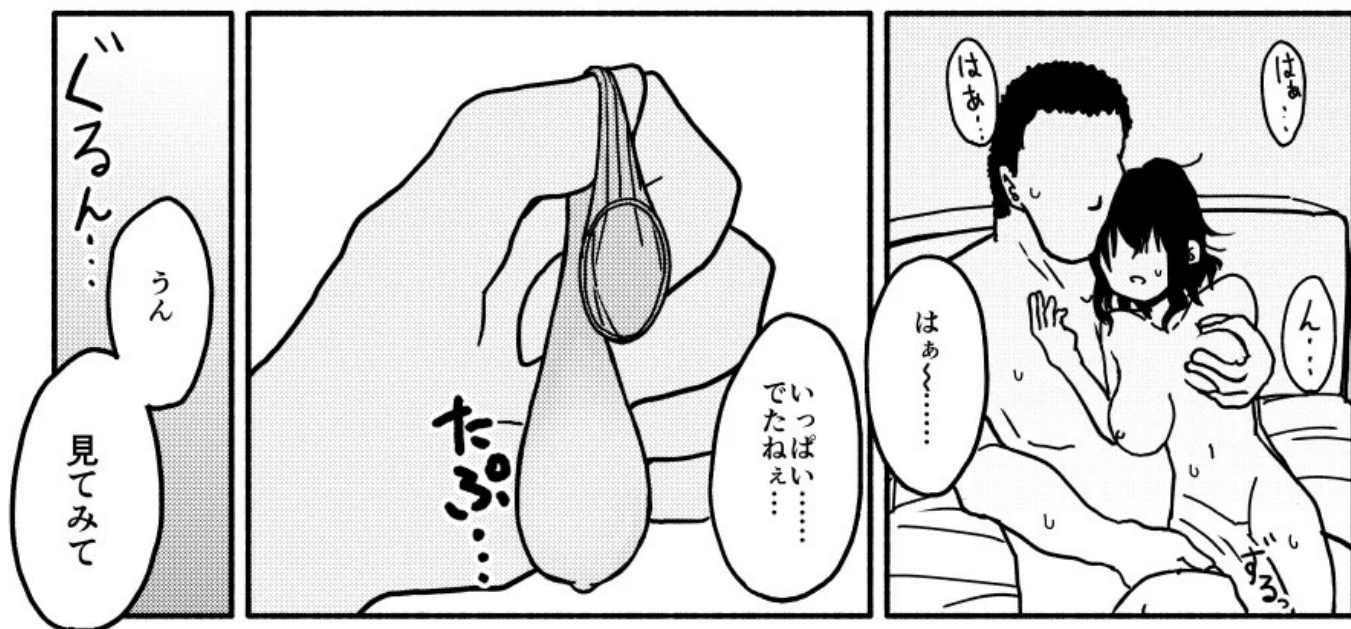
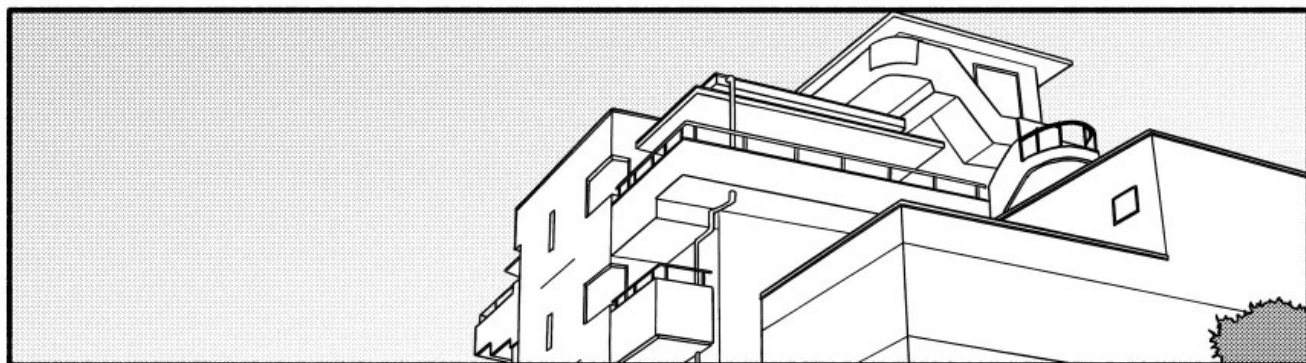
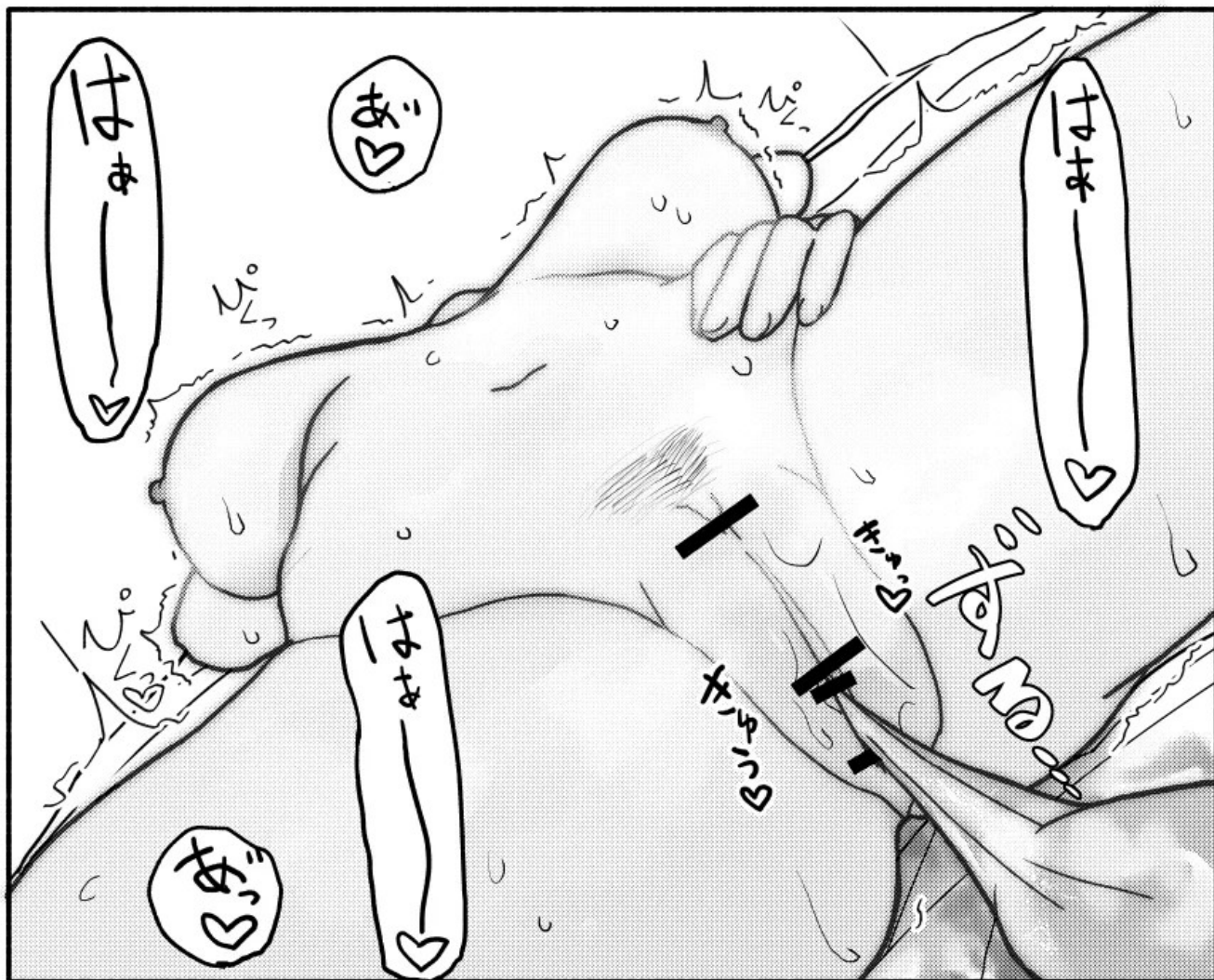
ん……

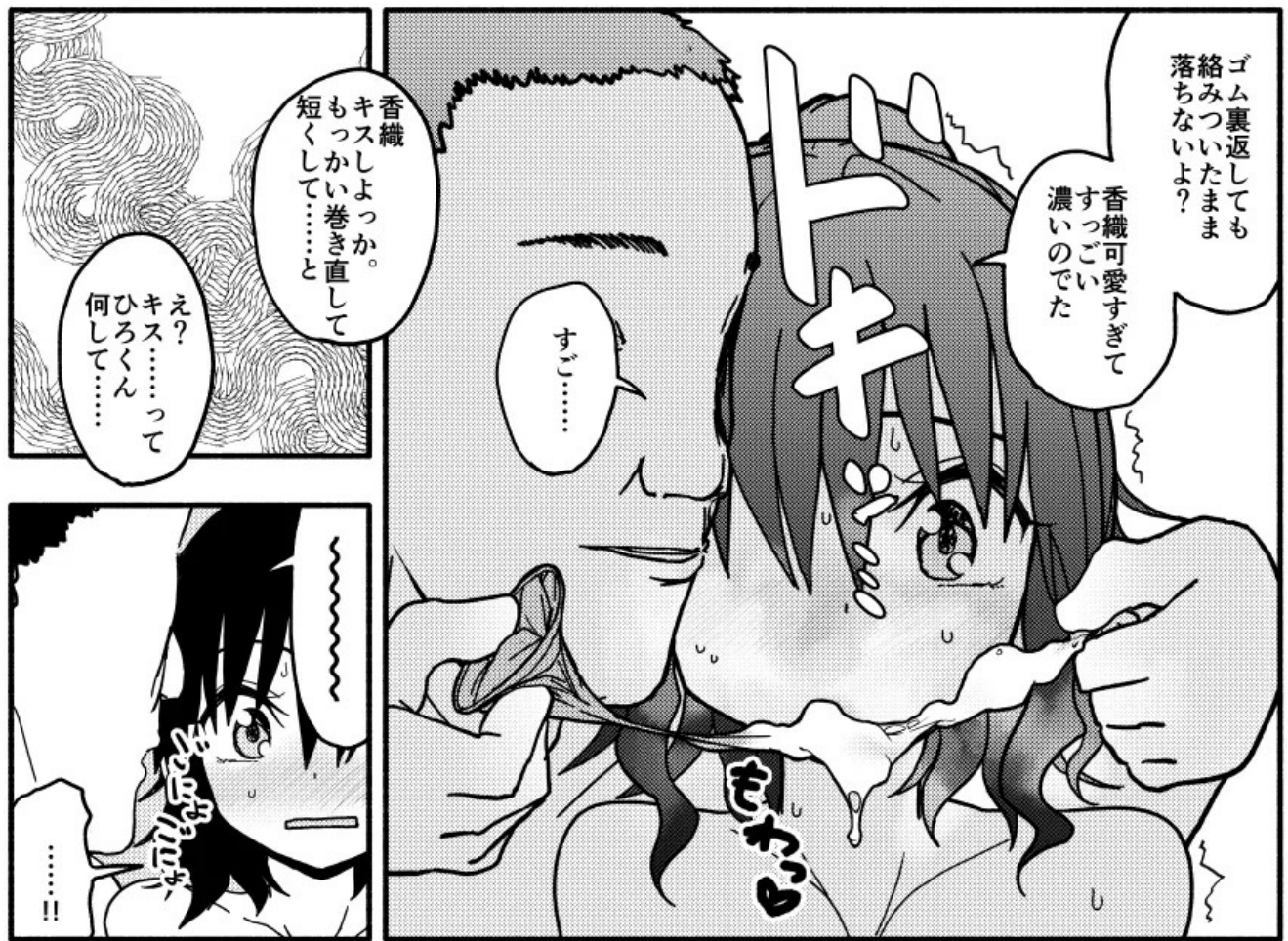
大抵
裸になりきる前に
胸の高鳴りが
限界になる

ぽて……



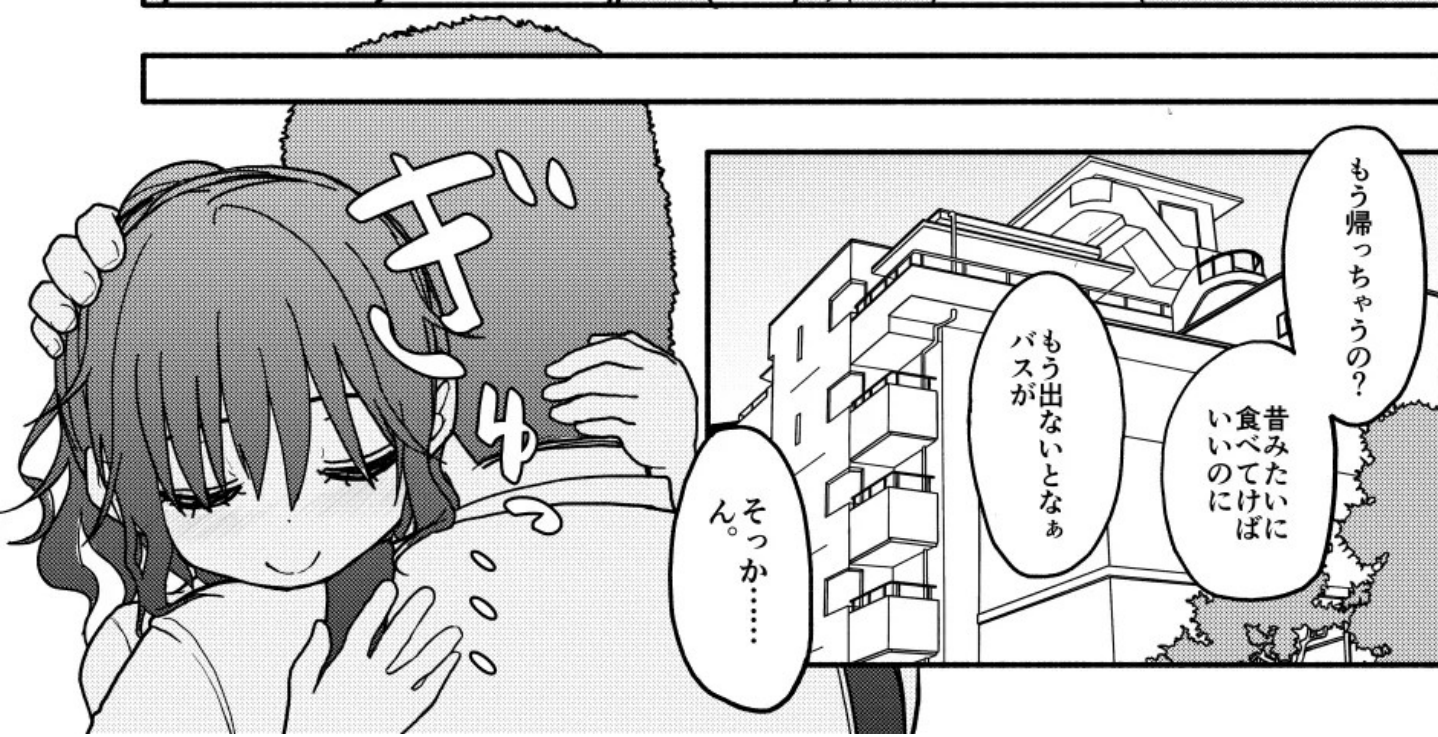
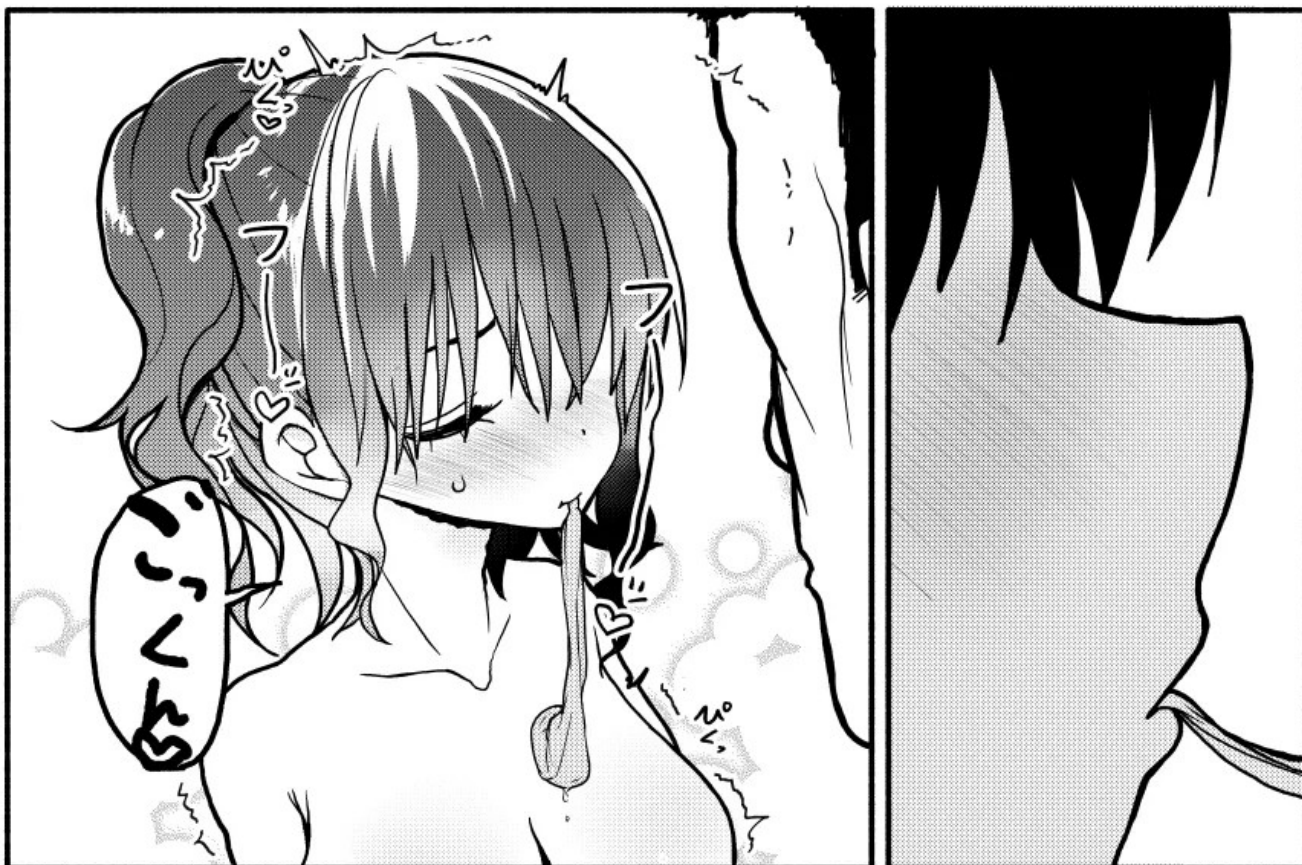


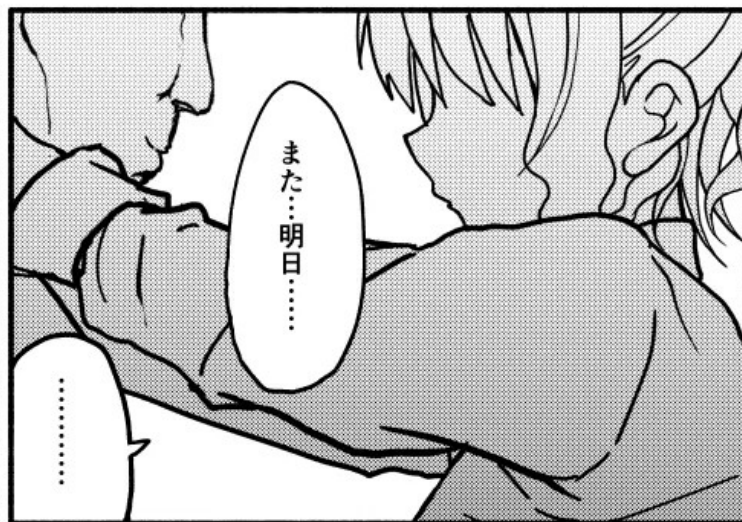












コシ

僕らが
幼馴染みだという
催眠を解除します

それに起因する
僕との行動も
無理のない範囲で
忘却します

一
ヶ
月
前

奥宮さん……
好きです

付き合っ
て下
さい

転校してきて早々
既にクラスの
アイドルに近い
存在になっていた
奥宮香織を

僕は
下駄箱に忍ばせた
ラブレターで
校舎裏に呼び出した。

優しい彼女なら
ちゃんと一人で
現れると確信が
あった

……ごめんなさい

勿論告白なんて
ダメ元オマケだ
返答なんか
どうでもいい

目的は達された。
あとは催眠アプリを
起動するだけ

「これから僕の
肉便器になってもらう」
とかそんな直接的な
催眠の文句を考えていた

そ……そっか

……あ

私ね

その……
あのね……?

好きな人が……
いるから……

好きな人?

別に知りたかったわけでもない。アプリ起動までの間、場つなぎの鸚鵡返し

だが彼女は語り出した

?

言ってしまったからには仕方ないかと腹を括った感じで

……おそらくは

ん……
こっちでの
幼馴染みでね

向こうに行っても忘れられなくて

ずっと……
10年

断ったのは「あなたがダメ」とかい
そういうことじゃない

「これほどまでに心に決めた人がいるのだ。誰でも断っていたよ」と説明すること

僕が傷ついたり落ち込まないように最大限気を遣ったのだろう

あっちにとってはわからないよ? 片思い……でも

私にとっては永遠にヒーローで……

そんなことをしても彼女に何のメリットもないのに

無償で彼女は何の恩も義理もない僕にそれを差し出したのだ

その瞬間

僕がかけるべき催眠は決まった

彼がずっと大好きなの



奥宮さん

それ、僕のこと
だよな?



あー..
いや

奥宮香織は
僕……高橋博を
今話した幼馴染みだと
認識します

すべて
その幼馴染みとの
思い出も僕との
思い出と認識し

今持っている
好意……想い
……気持ちも全部
そのまま僕に
抱きます

幼馴染み本人を
見ても特に何も
思い出せません

そうだな……
僕は君のことを
香織と呼んでたし
香織は僕のことを

あ……れ?
私何して……

!! ひろくん!?
えっ……どうして

久しぶりに
二人きりで
話したくてさ
呼び出したん
だけど

そ……
そっか……!!
そっかあ……!!

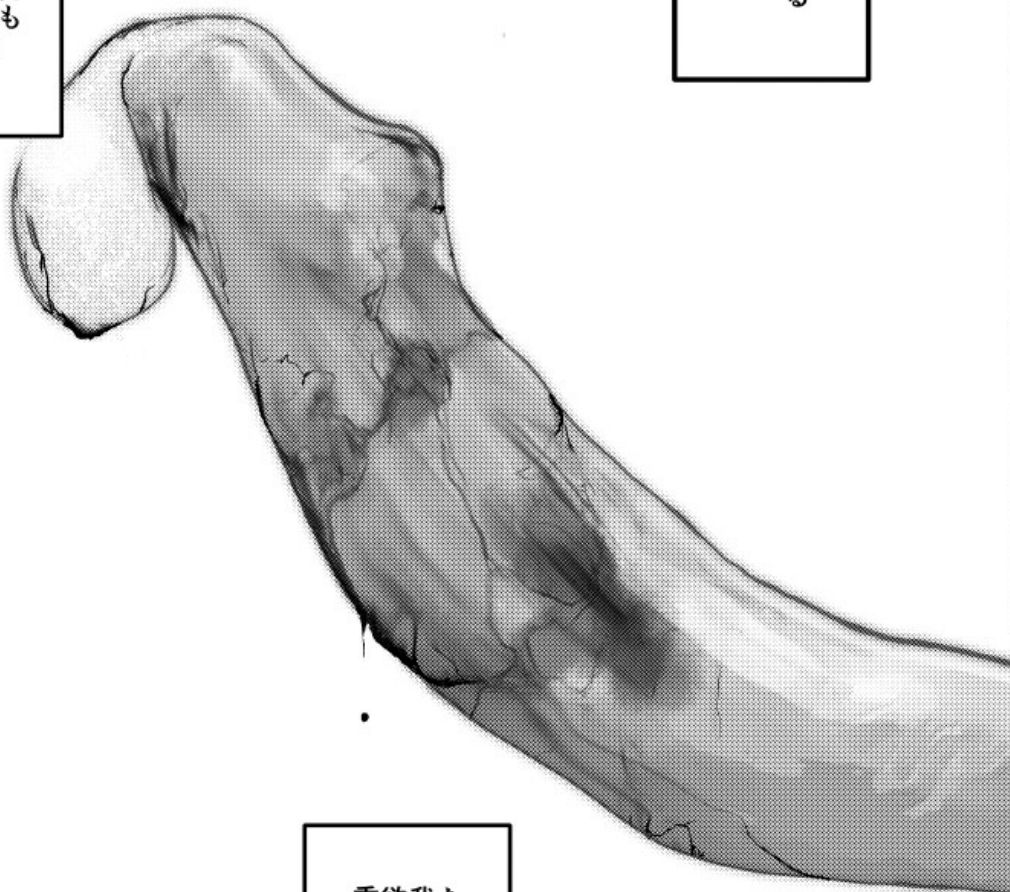
そして
その日のうちに
僕は恋人に
なった

それから三日も
しないうちに
僕は香織の
ファーストキスも
処女も奪った

まずはアプリを
いろいろ実験する
つもりだったが
何も計画的に
進まなかった

あまりにも
嬉しそうに毎日
好き好きと愛を
表現してくる
香織に

学校ではなるべく
関係を隠すように
言い含めるのが
やっとな



ただただ僕は
我慢がでさず
欲望のまま
香織を食った

その上
この催眠は
三日しか
保たなかった

だが
それから一ヶ月

あ……れ？
ひろ……くん
……あれ……？

まずいな……
かけ直すか

何度も
かけ直すうちに
徐々に改善が
成されている

催眠の文言の細部を
変えたり
本来の記憶との齟齬が
ないように会話を
気をつけたり

そして現在……

「幼馴染み催眠」を
一旦解除します

今回は
七日保った

ちなみに解除の文言と
「幼馴染み」でいた間の僕との
情事等の記憶の一旦忘却は
催眠時に設定してある

……え？

はちっ

ん……？
えっと……高橋くん
……です……よね？

あれ？
ウチに……なんで……

すぐにかけて直しても
いいんだけど……

一晩ほどは
インターバルを置いて
……休ませた方が
長く保つんだよね……

どーしよ……

さてどう
言い繕うか……

じり……

言い繕……？
え……？

あれ？ やべ
声に出た

催眠で
どうにでもなる
とはいえ
ゆるみすぎだな……





